

2015年8月1日 8時30分-12時

第2回夏休み親子医師体験セミナー@大阪医科大学 報告書

文責；大阪医科大学麻酔科学教室助教 駒澤伸泰
(医療技能シミュレーション室副室長)

インストラクター (順不同 敬称略)

林道廣 医療技能シミュレーション室室長 (消化器外科・教育センター)

駒澤伸泰 医療技能シミュレーション室副室長 (麻酔科)

森山幸子 医療技能シミュレーション室助教

田中慶太朗 消化器外科 准教授

花岡伸治 呼吸器外科 診療准教授

文元聰志 呼吸器外科 レジデント

藤原淳 麻酔科 助教准

服部一生 集中治療部 助教准

大地史広 集中治療部 助教准

タスクフォース

藤永孝 (医療総合研修センター課長)

上東香奈子 (医療技能シミュレーション室)

専門職や公共施設の非専門家に対する情報発信の一環としてセミナー開催、見学等は相互理解や交流の観点からも非常に重要です。大阪医科大学でもオープンキャンパスや一般向けの医療講演会を継続開催しています。今回、医療技能シミュレーション室は広報・入試部と共催でシミュレーションを活用した「第二階親子で参加する医師体験セミナー」を行ったので報告します。

2015年8月1日に医療総合研修センターの下部組織である医療技能シミュレーション室と広報・入試部の共催で開催しました。講師は、本学医療技能シミュレーション室の林室長、駒澤副室長、森山助教、上東さんだけでなく、消化器外科 (田中先生)、呼吸器外科 (花岡先生、文元先生)、麻酔科 (藤原先生)、集中治療部 (服部先生、大地先生) より応援を得ました。参加者は開催2ヶ月前より本学ホームページで募集を行い、厳正な抽選の結果9組18名の高学年の小学生と保護者が選定されました。

開催時間は約3時間としました。林室長の挨拶の後、5グループに分かれ、表1に示すように、診察体験 (呼吸音・心音)、縫合体験、模擬採血体験、蘇生手技体験 (胸骨圧迫・AED)、手術体験 (腹腔鏡手術モデル) を20分実習、5分休憩の間隔で行いました。

最後に、総括として現代の医療問題や様々な倫理問題 (本年度は人間の寿命と緩和医療について) について社会全体でディスカッションしていくことの重

要性を説明し、参加小学生に発表してもらいました。修了証の授与と白衣の貸与を行いました。

大学は文化を醸成し、病院は疾病に苦しむ人々を治療しケアする場です。社会に対する適切な情報発信および地域貢献は必須です。大阪医科大学のイメージ向上、適切な社会への情報発信および地域貢献の一つとして定期開催、改良を行っていくつもりです。

林室長の開会挨拶



インストラクターの先生



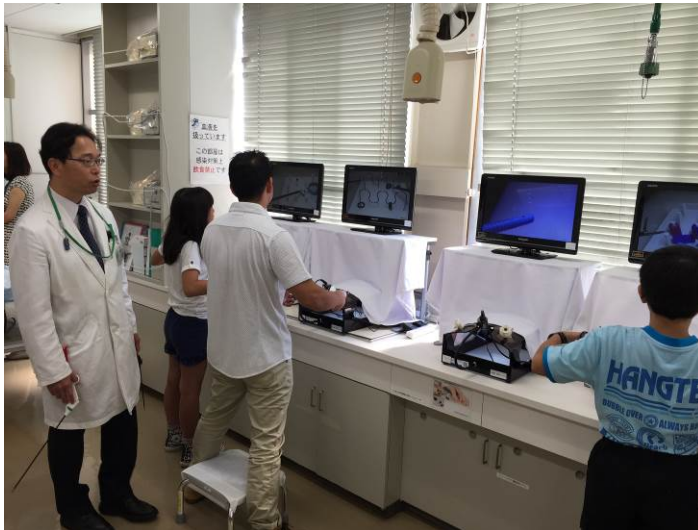
縫合体験



蘇生体験



腹腔鏡体験



採血体験



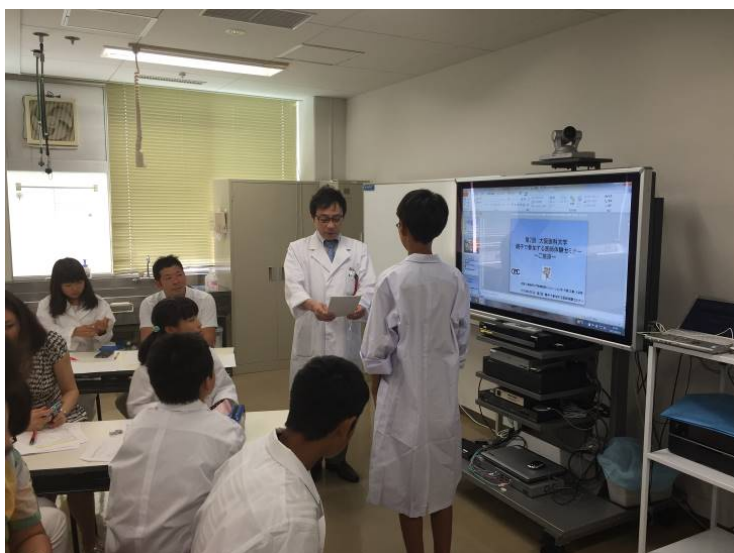
聴診体験



林室長により総括



修了式



記念品（大阪医科大学限定キューピー）



集合写真



セミナー内容のまとめ

項目	実施内容
手術体験 (腹腔鏡手術モデル)	両手に把持鉗子を持ちスキルゲームパッドを実施
模擬採血体験	採血シミュレータを用いて模擬血静脈採血の練習
縫合体験	皮膚縫合セットを用いて、皮膚縫合・抜糸の練習
蘇生手技体験 (胸骨圧迫・AED)	市民に対する心肺蘇生手技に準拠した連続的胸骨圧迫法・自動体外式除細動器（AED）の使用トレーニング
診察体験 (呼吸音・心音)	診察用シミュレータを用いて、 正常時の呼吸音・心音を聴診する